

毒キノコ 「新顔」に注意

年 組 名前

地球温暖化などの環境の変化に伴い、長野県内の毒キノコの分布に変化の兆しが出ています。特に注意が必要なキノコは何か、記事を読んでみましょう。

①須坂市の小宮山勝司さんはオオシロカラカサタケを、いつ、どこで見つけましたか。

いつ—

どこで—

②オオシロカラカサタケは本来、国内ではどの地域に分布していますか。また、小宮山さんは、県内で初めてオオシロカラカサタケを目にした時、どんなことを実感しましたか。

分布地域—

小宮山さんが実感したこと—

③オオシロカラカサタケを食べると、どんな症状を起こしますか。

④中毒件数が多く「御三家」とも呼ばれるのは、何というキノコですか。

⑤新潟県森林研究所の元研究員、松本則行さんによると、長野県でも懸念されるのは、具体的にどんなことですか。

毒キノコ「新顔」に注意

県内 熱帯や日本海側に多い種確認



須坂市の上信越道近くの畑に生えたオオシロカラカサタケ。9月下旬（小宮山勝司さん撮影）

温暖化などの環境の変化に伴い、県内の毒キノコの分布に変化の兆しが出ている。熱帯や亜熱帯で見られるオオシロカラカサタケが見つかるのは、日本海側に多いドクササコの確認も続く。隣の新潟県では「ナラ枯れ」した木が朽ちるのに伴い、ツキヨタケなどの出方が変わってきたと指摘する専門家もいる。いよいよ秋本番、今年のキノコは豊作との見方も出ている。長野県を含め全国の傾向ではツキヨタケやクサウラベニタケによる中毒事例が多いが、新たに分布を広げる毒キノコへの注意も欠かせなくなっている。

（編集委員 藤森秀彦）

9月下旬、須坂市の上信越道近くの畑に白っぽい大きめのキノコがいくつも顔を出していた。オオシロカラカサタケだ。見つけたのは「よくわかるきのこ大図鑑」などの著書がある小宮山勝司さん(78)だ。須坂市峰の高原。出ている場所や傘の直径が15センチほどある形態などから種類が分かったが、小宮山さんが県内で

温暖化影響？ 分布変化



長野市松代町で確認されたドクササコ=2020年10月（仁科久夫さん撮影）

が知られており、温暖化が影響しているとみられている。長野県食品・生活衛生課によると、県内での中毒の報告例はないが、全国では各地で発生している。嘔吐や下痢などの症状を起す。

キノコ中毒に詳しい長野女子短大客員教授で医学博士の山浦由郎さん（上田市）は、2010年まで10年間に全国で発生した中毒についてまとめていく。消化器に障害を起す毒キノコで、中毒件数が多く「御三家」とも呼ばれる南魚沼市で発生している。隣接域の長野県北部での分

布が気になる。県北信保所や長野市保健所などによると、ここ数年では下高井郡山ノ内町や木島平村、飯山市、中野市で見つかり、2019、20年には長野市松代町の竹林などでも確認例がある。傘がちょうど形で、食べられるカヤタケやホテイシメジに似ている。キノコの季節が終わりに近づくと10月下旬ごろに出る。群生することが多く、誤って採る一因になっている。

このほか、ミスナラやコナラが枯死する「ナラ枯れ」が長野県より早く広がった新潟県では、毒キノコの分布にも影響が見られる。同県森林研究所の元研究員、松本則行さん(64)は新潟県新発田市に、山奥のミスナラに出る傾向があるツキヨタケが、里山で立ち枯れしたコナラにも生える例がある。ナラ枯れした木にオオワライタケやカエンタケが発生するケースも確認。同様のことが長野県でも懸念されると話す。

毒キノコ「新顔」に注意

解答例

年 組 名前

地球温暖化などの環境の変化に伴い、長野県内の毒キノコの分布に変化の兆しが出ています。特に注意が必要なキノコは何か、記事を読んでみましょう。

①須坂市の小宮山勝司さんはオオシロカラカサタケを、いつ、どこで見つけましたか。

いつ— 9月下旬

どこで— 須坂市の上信越道近くの畑

②オオシロカラカサタケは本来、国内ではどの地域に分布していますか。また、小宮山さんは、県内で初めてオオシロカラカサタケを目にした時、どんなことを実感しましたか。

分布地域— 沖縄県などの暖かい地域

小宮山さんが実感したこと— (県内でも) 分布が広がりつつあること

③オオシロカラカサタケを食べると、どんな症状を起こしますか。

【解答】 嘔吐や下痢など

④中毒件数が多く「御三家」とも呼ばれるのは、何というキノコですか。

【解答】 ツキヨタケ クサウラベニタケ カキシメジ

⑤新潟県森林研究所の元研究員、松本則行さんによると、長野県でも懸念されるのは、具体的にどんなことですか。

【解答】 [例] ツキヨタケが里山で立ち枯れしたコナラにも生えたり、ナラ枯れした木にオオワライタケやカエンタケが発生したりすること